TERADA

テラダ･セルプラエンジンポンプ

取扱説明書

形式

Ｅ－７Ｎ６

まえがき

このたびは、テラダ･セルプラエンジンポンプをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は､運転及び保守上の重要な事項について説明したものです｡ご使用前によくお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

尚、弊社では全国にサービス網をもうけ、お客様の便宜を図っておりますので、万一故障が発生した場合や調子のよくない場合には、ご購入いただきました販売店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

開　　梱

ポンプがお手元に届きましたら、運搬途中での損傷はないか、付属品の不足や誤りはないか、銘板記載値がご注文通りのものかをご確認願います。

商品に損傷や不足があった場合は、ご購入いただきました弊社代理店または最寄りの当社営業所、販売店にご連絡ください。※尚、工場出荷時にはエンジンオイルは入っていません。9 頁を参考に、エンジンオイルを準備の上、注油するようにお願いします。

開梱時に、銘板中の必要な情報を下表に記入して保管してください。

製造番号		ご購入年月	‘　年　月　日
形　式		ご購入先	

内容一覧

◎　安全上のご注意 ･････ 2
1.　概要 ･････ 5
2.　仕様 ･････ 5
3.　梱包品 ･････ 5
4.　据付 ･････ 5
5.　運転 ･････ 7
5.1　使用注意事項 ･････ 7
5.2　始動・運転注意事項 ･････ 9
5.3　準備 ･････ 9
5.4　始動 ･････ 10
5.5　停止 ･････ 11
5.6　充電 ･････ 11
5.7　運転時間 ･････ 11
5.8　長期保管 ･････ 11
6.　保守・点検 ･････ 11
7.　故障原因と処置 ･････ 15
8.　各部名称 ･････ 16
エンジンポンプ取扱上の注意 ･････ 18
エンジンの仕様・諸元 ･････ 18
仕業点検 ･････ 19
設置方法詳細 ･････ 20
メモ ･････ 21
◎　連絡先 ･････ 22

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

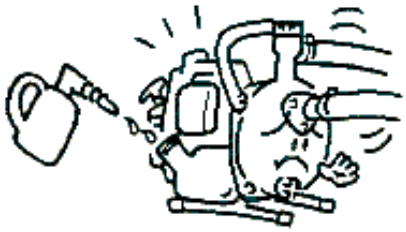
△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が描かれています。

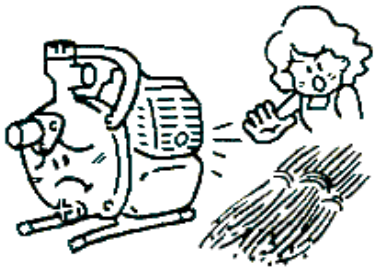
⚠ 警 告

●エンジンの運転中や停止後すぐの熱い間は燃料タンクの蓋を外したり燃料の補給をしないこと。



火災の原因になります。

●火の近くや、燃えやすいものの近くで使用しないこと。



火災の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

●修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしないこと。

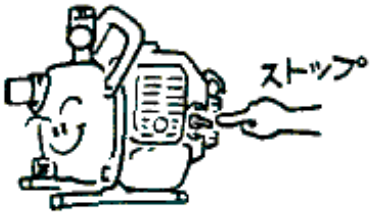
異常動作をしてケガの原因になります。

●換気の悪いところでは使用しないこと。
排気ガスは有害な成分が含まれています。

ガス中毒の原因になります。

●掃除や点検をするときは、エンジンを止めること。

運転中の掃除や点検は、やけどやケガの原因になります。



●動かなくなったり、異常がある場合はエンジンを止めて、お買い上げの販売店に連絡すること。

そのまま無理に使用すると、火災や水漏れの原因になります。

●エンジンの取り扱いや操作は、エンジンの取扱説明書をよく読むこと。

誤った取り扱いや操作をすると、ケガ・火災・故障の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意

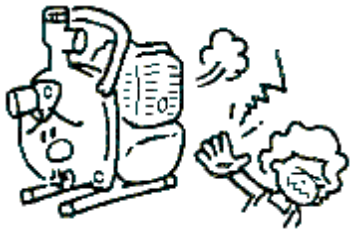
●不安定なところに設置しないこと。

ケガや故障の原因になります。

●40℃以上のお湯、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止。

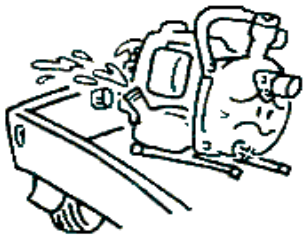
火災や故障の原因になります。

●熱くなっているマフラーや各部に触れないこと。



やけどの原因になります。

●運搬時は燃料を抜くこと。



燃料がもれて、火災の原因になります。

●ホースはしっかりと固定すること。

運転中にホースが動き、ケガや事故の原因になります。

１．　概　　要

このポンプは、洪水非常排水用、農地非常灌漑用、建設工事・排水・排泥用、その他一般排水用ポンプとして適しております。ポンプとエンジンを共通軸としたコンパクトな直動形タイプで、移動・搬送に便利な車輪付き（４輪）です。

２．　仕　　様

形式	口径 (mm)	最高全揚程 (m)	最大吐出し量 (m^3/min)	最大出力 (kW)	回転速度 (min^{-1})	質量 (kg)
E-7N6	150	28	3.3	17.2	3600	266

●寒冷地でご使用されるときは、凍結にご注意ください。
●スラリー・土砂等の異物を含んだ水はポンプ寿命をいちじるしく縮めますので、ご注意ください。

３．　梱 包 品

（１）ポンプ本体　①ポンプ　１台
　　②ホースカップリング　２組（パッキン・竹の子・ナット）

（２）付属品　①ストレーナ　１個（竹の子付き）
　　②エンジンキー　２組
　　③ポンプ取扱説明書　１部
　　④エンジン取扱説明書　１部
　　⑤バッテリー接続金具　１式(ゴムカバー付き ⊕ 側 ⊖ 側)
　　⑥バッテリー固定金具　１式(寸切ﾎﾞﾙﾄ･押え･ｺﾞﾑP/K･ﾅｯﾄ･ﾜｯｼｬ･SW)

４．　据　　付

（１）据付場所

① 雨水のかからない場所、結露の起こらない場所に据付けてください。水がかかると電気系統の故障の原因になります。
② 据付位置はポンプがなるべく吸水源に近くなるように決定します。吸水面とポンプとの垂直距離は原則として５ｍ以内にしてください。
③ ポンプの据付は水平に設置し、ストッパーで固定及び車輪の固定をしてください。
④ ポンプ前のめり防止機能については、20 頁を参考に使用してください。

（２）配管

吸水管取付上の注意

① なるべく短く、曲がりなどもできるだけ少なくしてください。横引き部分が長いと自吸に時間がかかり吐出し量も少なくなります。
② 吸水管内部は負圧になり軟らかいホースは変形しますので堅固なものを使用してください。各接合部は空気が漏れないようにしてください。
③ 吸水管先端には必ずストレーナを取付け、完全に水面下に沈めて運転してください。
④ 吸水管の重量がポンプにかからぬよう適当な支持をしてください。

吐出管取付上の注意

① 必要以上に長くならないように、又自吸作用中の空気の逃げを妨げないようにしておいてください。
② 配管状況に応じて自吸作用中エア抜きバルブを使用してください。20 頁参考。

⚠ 警 告

エンジンの排気ガス中には、有害な一酸化炭素等が含まれており危険です。
密閉された場所では使用しないでください。

⚠ 警 告

試運転、本運転にかかわらず運転前に次の事項を必ず実行してください。

(1) エンジンクランクケースに必ず注油してから始動してください。
※工場からの出荷時にはエンジンオイルは入っていません。
9 頁を参考に、エンジンオイルを準備の上、注油するようにお願いします。
(2) ケーシング内が満水になるまで注水してください。

◇始動・運転時の注意

⚠ 警 告

＊エンジン運転中及び運転後１０分位はマフラーや高温部に手を触れないでください。
＊運転中に燃料を補給することは危険です。絶対にしないでください。
＊閉めきった室内では、エンジンを始動しないようにしてください。
＊エンジン運転中は、幼児を機械のそばへ近付けないようにしてください。

⚠ 注 意

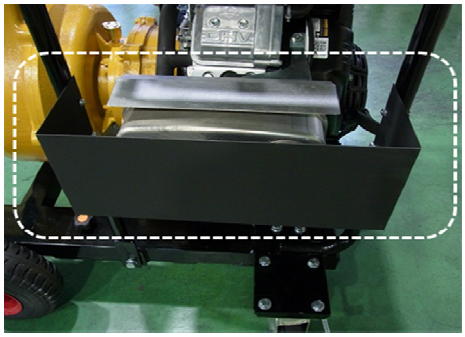
＊機械は平たんな場所を選んで据付けてください。
＊傾斜地での運転はしないでください。
＊回転物には手や足を近付けないようにしてください。

重 要

＊運転中の注意（確認事項）
●異常振動、異音はありませんか。
●排気音にムラはありませんか。
●排気色に異常はありませんか。
（白、黒色など濃い色の排気が連続して出ていませんか）
異常があるときは、エンジンを停止して近くの販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

やけどの危険
運転中および冷却される迄の間は排気管およびマフラー周辺高温部（右図点線囲い付近）に触れないでください。



５．　運　　転

５.１　使用注意事項

エンジンの保守・点検・整備を行う前には、エンジンの取扱説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。

■保守・点検・整備

（１）次の場合は必ずエンジンを止めて行ってください。

＊各部の点検・調整・清掃をするとき。

＊燃料の補給をするとき。エンジン停止直後の燃料キャップの開閉禁止。（５分以上待つこと）

＊各部の廃油及び給・注油をするとき。

＊マフラーの上にたまったゴミやホコリなどを掃除するとき。

＊不自然な音・異臭・振動がしたら、直ちにエンジンを停止し、原因を明らかにして修理してから運転してください。

（２）運転停止後エンジンが冷えるまでは、シートなどで覆わないでください。

■運搬

（１）運搬のときは、燃料キャップがしめられていることを確認し、燃料コックを閉にします。

（２）距離や悪路が予想されるときは、燃料を抜いてください。

⚠ 注 意

＊機械の改造は危険ですので、改造しないでください。

改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

■保管

（１）長期間使用しないときはケーシング内を水洗し、凍結防止のため水を抜いてください。

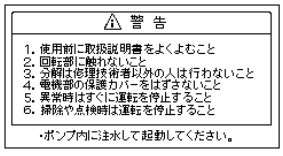
（２）エンジンは 11 頁のエンジンの長期保管項目を参照してください。

警告・注意ラベルと取扱い

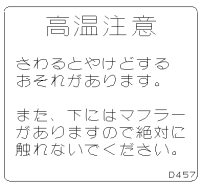
本体には、次の警告・注意ラベルを貼り付けていますので、汚損したり、はがれた場合は、新しいラベルと取替えてください。

エンジン用警告ラベル

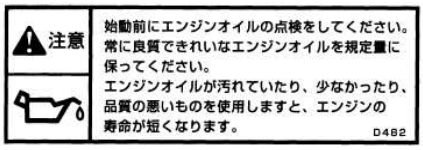
警告ラベル



高温注意ラベル



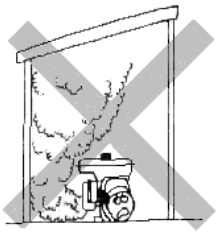
エンジンオイル注意ラベル



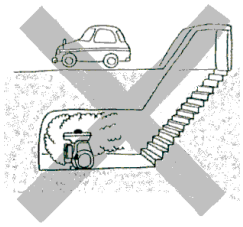
安全にお使いいただくために、禁止事項及び、次のことがらを必ず守ってください。

⚠ 警 告

排気ガスが充満して中毒死するおそれがあります。必ず換気するようにしてください。



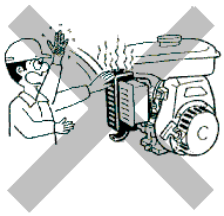
密閉した又は通気性の悪い場所での運転禁止。



トンネル・地下室での運転禁止。

エンジン運転中及びくわえタバコでの燃料補給禁止。爆発火災のおそれがあります。

たき火などのそばでの運転禁止。引火して火災をおこすおそれがあります。



運転中や停止直後のマフラー排気管にはさわらないでください。ヤケドをするおそれがあります。

⚠ 注 意

＊取扱説明書をよく読んで、機械の使い方をよく覚えてから使用してください。

＊機械を他人に貸す場合には、取扱方法をよく説明し、あらかじめ“取扱説明書”を読むように指導してください。

■運転するときの服装

衣服の一部・頭髪・手拭い・タオルなどが巻き込まれないよう、適正な帽子及び作業衣などを着用してください。

■仕業点検

（１）各部の取付ボルト・ナットは作業前に点検し、緩んでいる場合は増し締めしてください。

（２）燃料の補給は、必ずエンジンを止めてから行ってください。
（燃料キャップの開閉はエンジンを止めてから５分以上待つこと）

（３）燃料注入時にこぼさないように注意してください。こぼしたときは、火災の原因になりますのですぐにふき取ってください。

（４）エンジンオイルの点検を行い、オイルが減っていた場合は、オイルゲージ上のきざみ線まで補給してください。

５.２　始動・運転注意事項

（１）エンジンの運転中は、周囲にワラ・オガクズ・紙など、可燃物を近付けないでください。

（２）運転するときは、建物や施設などから１ｍ以上離してください。また、人や建物、燃え易いものにマフラー排気口を向けないでください。

（３）機械は安定した水平な場所で運転してください。また運転中は、ゆすったり移動させたりしないでください。ガソリンが漏れることがあります。

（４）エンジン運転中は幼児や小動物をエンジンのそばへ近付けないでください。

（５）エンジン運転中に燃料タンクのキャップを外さないでください。

（６）ガソリンのにおいがするときや、爆発の可能性のあるような状態のときには、エンジンを運転しないでください。

（７）運転中は点火プラグや高圧線に触れないでください。感電の危険性があります。

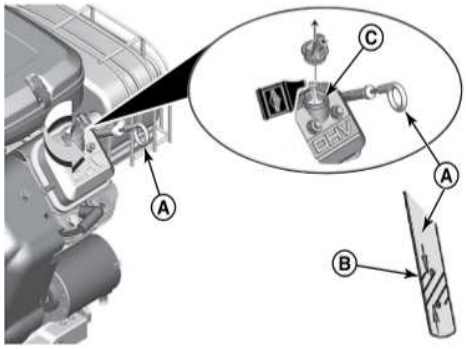
５.３　準備

① ポンプに呼び水が入っているか確認してください。

② エンジンオイルが注油されているか確認してください。

◇試運転時準備

エンジンオイルを注油口（Ｃ）よりいれます。
オイルゲージ（Ａ）を押込んだ状態で、
上のきざみ線（Ｂ）まで入れてください。
一度運転するとオイルレベルが下がりますので、
再度オイルゲージ上のきざみ線までオイルを
入れてください。（オイル量 ≒1.5L）



最適なパフォーマンスを得るために、Briggs&Stratton 純正オイルのご使用を推奨します。
また、グレード SF、SG、SH、SJ 以上に分類される高性能清浄オイルのご使用も可能です。
特殊な添加剤は使用しないでください。
屋外動力機器に使用されるエンジンはたいていの場合、5W-30 グレードの化学合成オイルで正常に動作します。また、機器を高温の条件下で使用される場合、15W-50 グレードの化学合成オイルを使用されることで機器を最良の状態に保護することができます。

◇運転時準備

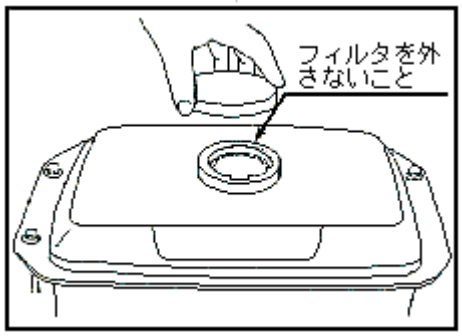
始動前には必ずエンジンオイルの点検をしてください。
常に良質できれいなエンジンオイルを規定量に保ってください。（ゲージ上のきざみ線まで）

③ ガソリンが給油されているか確認してください。

自動車用レギュラーガソリンを入れます。
（満タンで約２１．５ ㍑）

⚠ 警 告

＊溢れ出た燃料は必ずふきとってください。
＊給油中はエンジン停止、火気厳禁。



④ エンジンの燃料コックが開いているか確認してください。

５.４　始動

⚠ 注 意

（１）ポンプ稼動の際は、チョークレバーを OPEN（開）にしておいてください。

（２）エンジンのスピードコントロールレバーを低速側（SLOW）に倒し過ぎると停止する場合がありますので、レバーは高速側（FAST）にしておいてください。

（３）運転中及び運転直後はエンジン、排気管（マフラー）等は高温になりますので、さわらないでください。やけどの原因になります。
排気管周囲には燃えやすいものを近付けないでください。

① 燃料コックを「開」にします。（図１）
② スピードコントロールレバーを低速（SLOW）から高速（FAST）の方向に約 1／3 開いた状態にします。（図２）
③ チョークレバーを引きます。（図３）
④ エンジンのキー穴にキーを入れ、「ＯＮ」（始動）方向いっぱいに回してセルスターターを回転させ始動させてください。（図４）
※５秒以上連続して回転させないでください。
始動しない場合は少なくとも１０秒以上休ませてください。
⑤ エンジンが始動したら､すぐにキーから手を離してください。（この時キーは自動的に運転位置となります）
⑥ 始動したらチョークをゆっくりと戻してください。
⑦ 低速（SLOW）にて暖機運転をしてください。（２～３分）
⑧ スピードコントロールレバーにて回転速度を調整してください。
⑨ しばらくすると揚水を開始します。揚水しますと、スピードコントロールレバーを高速（FAST）の方向に開けて連続運転に入ります。吐出し量を少なくしたいときは、スピードコントロールレバーにて回転速度を下げることにより調整できます。
⑩ エンジンの油・燃料漏れ、ポンプの水漏れがないか確認してください。

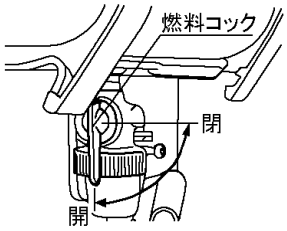


図１

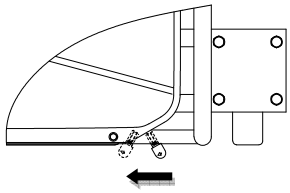


図２

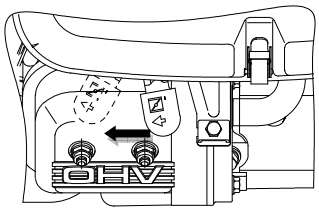


図３

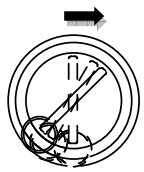


図４

●リコイルスタート
上記①、②、③を行い④エンジンキーを「ＯＮ」にしてスターターハンドル（L）を握り、コードを軽く引き抵抗のある位置より素早く引きます。
（何度か繰り返し行ってください）
エンジン始動後は⑥以降に従ってください。

５.５　停止

① エンジンは急に止めないでください。

② エンジンのスピードコントロールレバーを低速（SLOW）にして（図５）キースイッチのキーを「ＯＦＦ」にします。（図６）
※燃料コックを閉めてください。

③ エンジンよりキーを抜いてください。
（注）ポンプを運転しないときや、現場から離れるときは必ずキーを抜いてください。

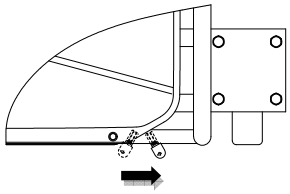


図５

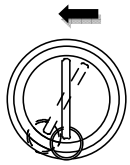


図６

５.６　充電

バッテリーが放電したときは、充電器などで充電してください。

５.７　運転時間

Ｅ－７Ｎ６形ポンプは、ガソリン満杯で運転開始すると、約 2.5 時間連続運転ができます。

５.８　長期保管

■いつでも調子よく使うために次のことを励行してください。

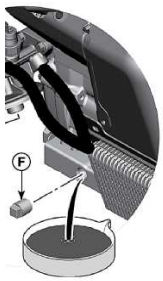
（１） 燃料タンクのガソリンを抜いてください。

（２） ポンプケーシング内満水にして頂き、燃料コックを閉じてエンジンを始動させ燃料が切れるまで運転してください。

（３） ポンプケーシング内を水洗し、凍結防止のため水を抜いてください。

（４） クランク室内のオイルを交換してください。

（５） 各部を油布で拭いて、カバーをかけて、湿気の少ない場所を選んで格納してください。



６．保守・点検

（１）ポンプ部の保守・点検

常に運転が確実に行えるように平素の保守・点検には注意を払ってください。

⚠ 注 意

（１）毎月一回運転を行い異常がないか確認してください。
運転の際、ポンプケーシング内が満水か確認してください。

（２）３ヶ月に一度エンジンの燃料の交換を行ってください。
（ガソリンの劣化による起動不良の原因となります）

◇主要部品のおおよその交換時期

部　品　名　称	部品寿命（どちらか早いほう）	
	時　　間	年　数
メカニカルシール	3,000 時間	３年
吸水弁	3,000 時間	３年
羽根車	1,000 時間	３年
マサツ板	1,000 時間	３年
Ｏリング・パッキン 一式	分解・点検ごと	
オイルフィルター	14 頁、保守整備一覧参照	
エンジンオイル		
エアクリーナー・エレメント		
プラグ		

注）上表の寿命は目安です。使用条件により大きく左右されますので年１回程度点検していただき、摩耗、劣化等ありましたら早めに交換してください。

◇オーバーホール時期

ポンプの能力を十分に発揮できるように、３年毎（3,000 時間毎）にオーバーホールを実施してください。

オーバーホールは最寄りの当社営業所または販売店へご依頼ください。

◇簡単な手入れのしかた

■エンジンオイル

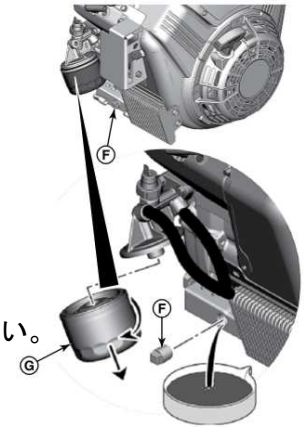
ドレンプラグ（F）を外して、エンジンオイルを排出します。

排出後はドレンプラグを元の状態に締付けてください。

給油口から、エンジンオイルを規定量入れてください。

ドレンプラグ（F）よりオイル漏れがないか、確認してください。

使用オイルについては 9 頁 5.3 準備の項を参照してください。



■オイルフィルター（G）

フィルターを外すときは、あらかじめエンジンオイルを排出してください。

取り付けの際は、フィルターのＯリングにエンジンオイルを塗り、

すべり易くし、Ｏリングがエンジンに接触してから手またはレンチで

３／４回転締め付けてください。

重　要

＊オイルの点検又は交換するときは、エンジンを水平な場所に置いてください。傾いていると正確なオイル量が測れません。

＊オイル量はエンジン始動前か、エンジンを止めてから約１０分以上たった後、点検してください。

■点火プラグ

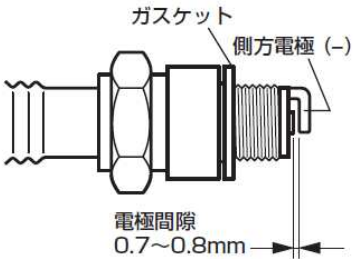
点火プラグは、CHAMPION XC92YC です。

（1）点火プラグを外してください。

（2）電極が消耗してスキマが大きくなっているときは、電極スキマを 0.7～0.8mm に調整してください。

（3）電極に多量のカーボンが付着しているときは、清掃してください。

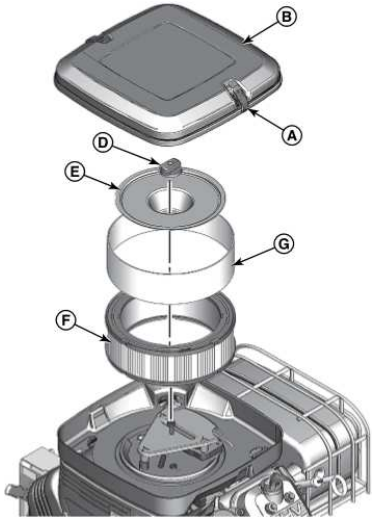
（4）点火プラグを交換するときは、同じ型式の（又は互換性のある）プラグを購入の上使用してください。異なった型式のプラグを使うと、失火を起こしたり、始動不良を起こしたりしますのでご注意ください。



■エアフィルター

エアフィルターが汚れていたり、目詰まりしたまま使用すると、エンジンの寿命に影響します。清掃はウレタンフォームは５０時間ごと、エレメントは２００時間ごとです。（ホコリの多いときは８時間ごと又は１日１回）

ファスナーを開け（A）、カバー(B)を取り外します。ナット(D)とリテーナ(E)を取り外します。 エアフィルター(F)を取り外します。備わっている場合は、予備クリーナー(G)を空気フィルター(F)から取り外します。フィルターがひどく汚れている場合は新しいフィルターに交換します。予備クリーナー(G)を洗剤を混ぜた水で洗います。予備クリーナーは空気乾燥してください。プレクリーナーにはオイルを足さないでください。

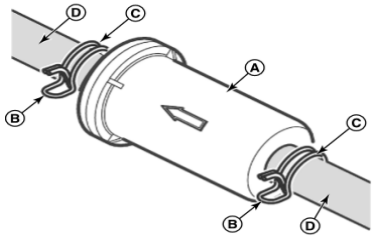


■燃料フィルター

200 時間使用ごとに燃料フィルターを清掃してください。

この作業はホコリのない清潔な場所で行ってください。

燃料コックを“閉”にします。クランプ（C）上のタブ（B）をペンチで締め付け、次にクランプを燃料フィルター（A）からスライドさせて外します。燃料ライン（D）を捩りながら引き、燃料フィルターから外します。



燃料フィルター

■エンジン回りの清掃

⚠ 注 意

＊バッテリー・配線・マフラー及びエンジン周辺部に、枯草・ゴミや燃料の付着があると、火災の原因となり危険です。毎日作業前に点検し、きれいに取除いてください。

■電気配線の点検

⚠ 注 意

＊配線のターミナル（端子）部のゆるみは接続不良になり、また配線が損傷していると電気部品の性能を損なうだけでなく、ショート（短絡）・漏電又は焼損など、思わぬ事故になることがあります。傷んだ配線は早めに交換・修理してください。

◇保守整備一覧表

エンジンを常に良好な状態で使うため、次の点検表（普通の状況で使用の場合）に従って定期的に保守点検を励行しましょう。保守点検の清掃・交換方法については、エンジンの取扱説明書に従って行ってください。

メインテナンス項目	運転 8 時間毎 もしくは毎日	運転 50 時間毎 もしくは毎週	運転 200 時間毎 もしくは毎月	運転 500 時間毎
各部の清掃及び締付点検	○以下(毎日)			
エンジンオイル点検・補給	○以下(毎日)			
エンジンオイル交換	(初回 20 時間目)	○（100 時間または、６ヶ月毎）		
点火プラグの清掃		○		
エアクリーナーの清掃		○		
燃料フィルターの清掃			○(100 時間)	
エアクリーナーエレメント交換			○	
点火プラグスキマ			○	
オイルフィルターの交換		(初回 50 時間目)	○	
吸排気弁隙間点検・調整				◎(300 時間)
シリンダヘッドカーボン除去				◎
エンジンベース(オイルパン)清掃				◎
気化器清掃				◎
吸排気弁座点検すり合わせ				◎
燃料ホース交換				２年毎
エンジンオーバーホール				1000 時間毎

◎印の点検項目は販売店、または指定工場にご用命ください。

⚠ 注 意

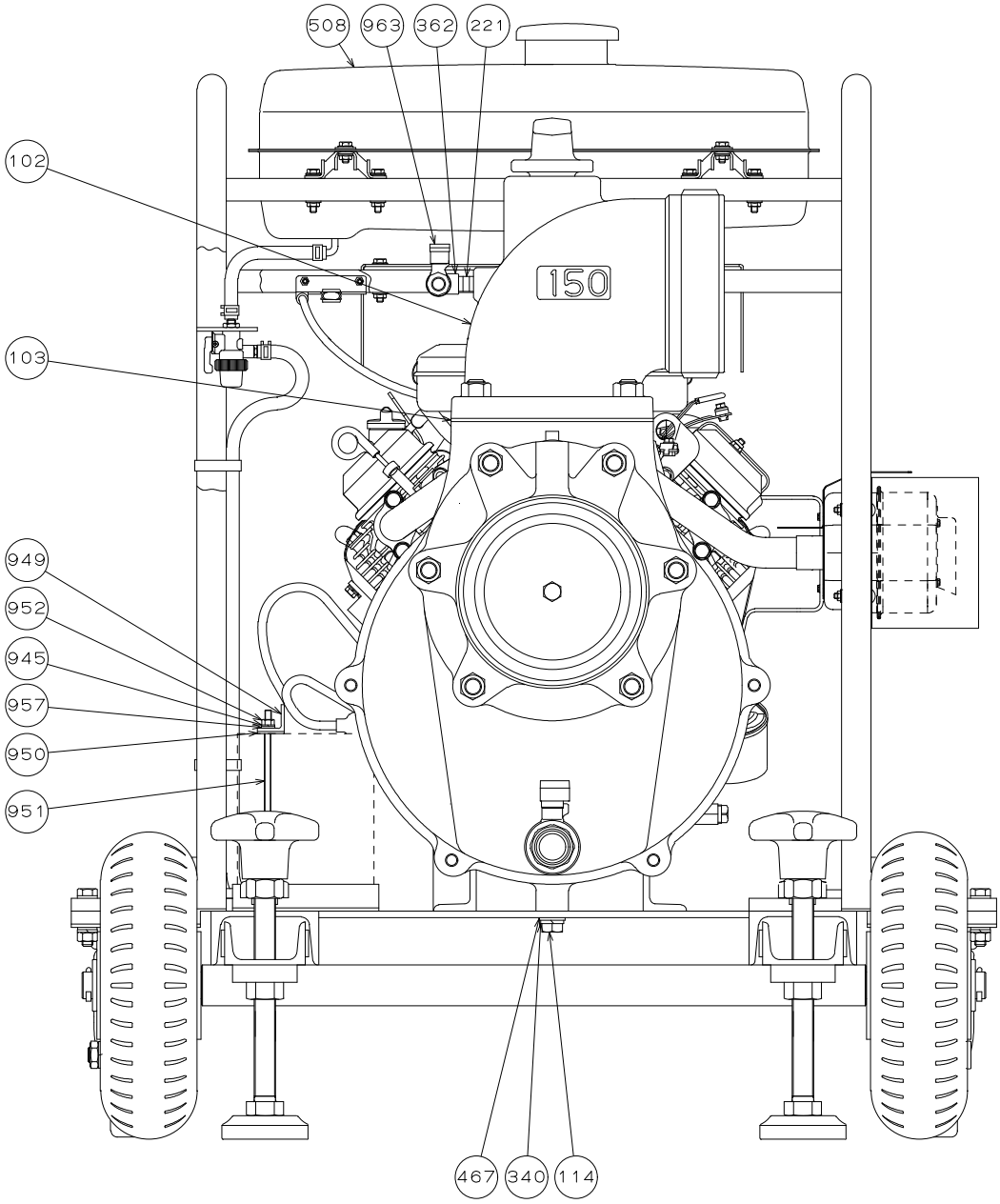
＊燃料ホース及びゴム類は２年間で交換してください。

７．　故障原因と処置

現　　象	原　　因	処　　置
①ポンプが回らない	・エンジンが回らない ・錆ついている ・異物が羽根車にかみ込んでいる ・セルスターターが動作しない	・エンジンの取扱説明書で対処 ・分解し、錆除去する ・分解し、異物を取り除く ・配線の点検、バッテリーチェック
②揚水量、吐出圧力が不足している	・空気漏入 ・異物混入による閉塞 ・回転速度低下 ・吸込揚程過大 ・羽根車の前スキマ過多 ・揚程が高い、又は配管損失が大きい	・吸込管及び接続部を点検、修正 ・ストレーナ、羽根車部点検、異物除去 ・正規回転速度で運転する ・なるべく吸水面に近づける ・マサツ板と羽根車のスキマは 1㎜ 以内 ・計画を見直す
③自吸時間が長い	・自吸水が不足 ・空気漏入 ・回転速度不足 ・液温が高い	・ケーシング一杯に水を入れる ・各接続部を点検、修正する ・正規回転速度で運転する ・液温を下げる
④騒音がする（ｴﾝｼﾞﾝ以外）	・吸込み揚程過大 ・ストレーナ、吸込み管の閉塞 ・羽根車に異物かみ込み ・配管が共振している	・ポンプを吸水面に近づける ・閉塞物の除去 ・異物の除去 ・配管を改良する
⑤エンジンの異常加熱	・過負荷 ・回転速度過大 ・エンジンの不調	・原因除去 ・正規回転速度で運転する ・エンジンの取扱説明書で対処
⑥自吸しない	・ポンプの取付位置不良 ・空気漏入 ・呼び水不足 ・ケーシング内に異物かみ込み ・メカニカルシール不良 ・吸込管変形 ・ストレーナ閉塞 ・吐出弁が閉まっている ・液温が高い	・吸込揚程、吸込管の横引長さ等修正 ・吸込管及び接続部を点検、修正 ・ケーシング内に十分水を入れる ・ケーシング内の異物除去 ・メカニカルシールの交換 ・吸込管の交換 ・閉塞物の除去 ・吐出弁を開ける ・液温を下げる

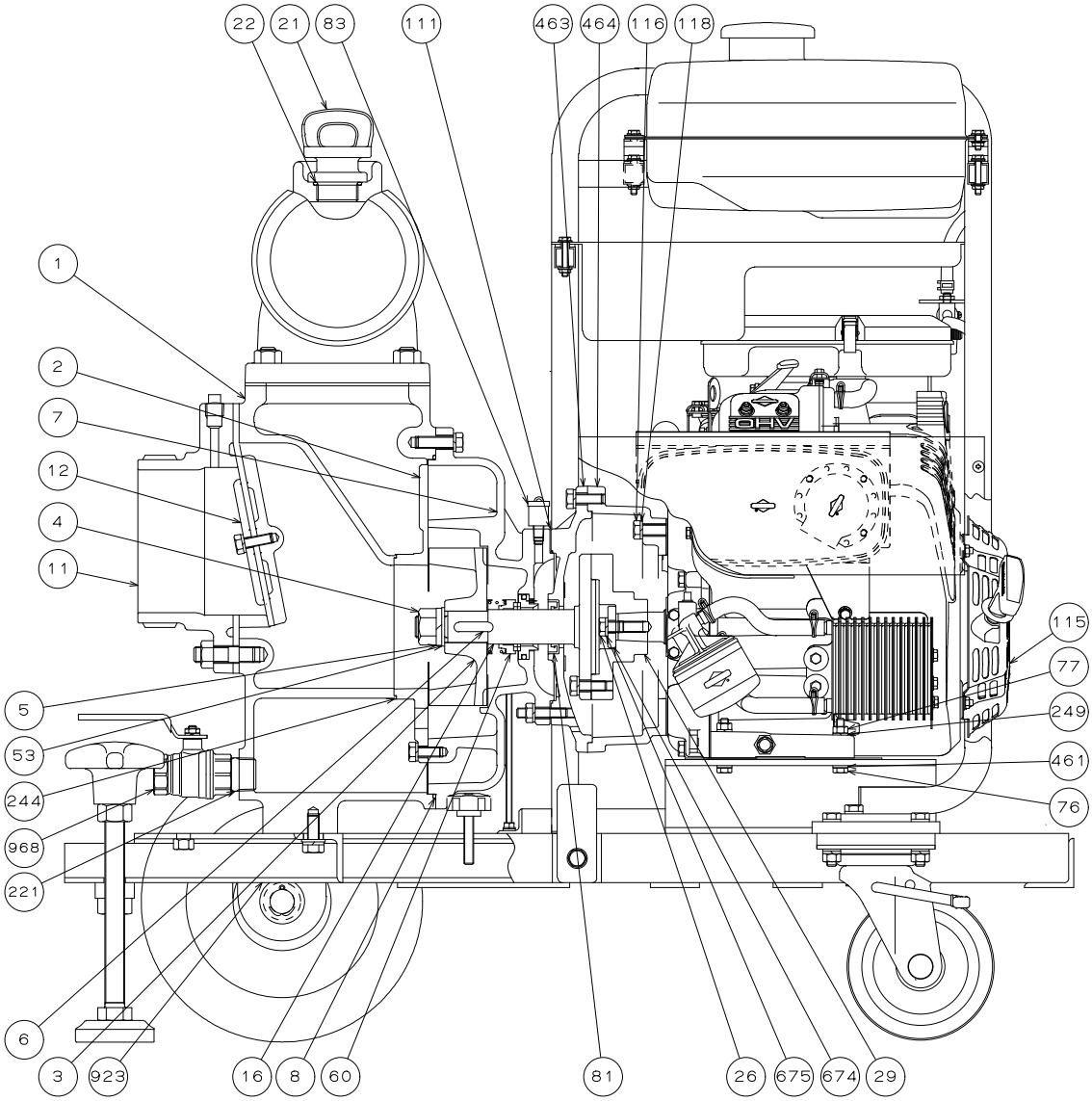
８．　各部名称

（１）正面図



品番	部 品 名	品番	部 品 名	品番	部 品 名
102	吐出口	362	エルボ	950	バッテリーパッキン
103	吐出口用パッキン	467	ポンプ取付ボルト用平座金	951	バッテリー取付寸切りボルト
114	ポンプ取付ボルト	508	燃料タンク一式	952	バッテリー取付ナット
221	ニップル	945	バッテリー取付ばね座金	957	バッテリー取付座金
340	ポンプ取付ばね座金	949	バッテリー押さえ板	963	ボールバルブ

（２）側面図



	部 品 名	品番	部 品 名	品番	部 品 名
1	ケーシング	22	注水口止栓パッキン	118	エンジン取付カバー用ばね座金
2	マサツ板	26	カップリング止ボルト	221	ニップル
3	羽根車	29	カップリング	244	マサツ板パッキン
4	羽根車ナット	53	羽根車取付平座金	249	エンジン取付ばね座金
5	羽根車ばね座金	60	メカニカルシール	461	エンジン取付ボルト用平座金
6	羽根車キー	76	エンジン取付ボルト	463	ポンプ取付ジョイント
7	ケース蓋	77	エンジン取付ナット	464	エンジン取付カバー
8	ケーシングパッキン	81	オイルシール	674	カップリング止め座金
11	吸水口	83	オイルカップ	675	カップリング止めばね座金
12	吸水弁	111	ポンプ側パッキン	923	台車
16	シャフト	115	エンジン	968	ドレンバルブ
21	注水口止栓	116	エンジン取付カバー用ボルト		

⚠ 安全に使用するために

■バッテリーの取扱い

（１） バッテリーにコードを接続するときは ⊕（赤色）⊖（黒色）を間違わないようにしてください。間違うと、バッテリーと電気系統が故障します。

（２） バッテリーからコードを外すときは、⊖（黒色）側を先に外し、取り付けるときは ⊕（赤色）側を先に取り付けてください。逆にすると工具などが当たった場合ショートします。

（３） 充電後、及び長時間運転後は、バッテリーに火気を近付けないでください。爆発火災に特に注意してください。

◇エンジンの仕様・諸元

名　　称	ブリッグスアンドストラットンジャパン（株） ﾓﾃﾞﾙ386447 VANGUARD 23.0GrossHP
型　　式	空冷４ストロークＶ型２気筒 OHV 式ガソリンエンジン
シリンダ内径×行程　(mm)	２－７５．５×７０
総　排　気　量　(mℓ)	６２７
最　大　出　力　(kW/min^{-1})	１７．２／３６００
連続定格出力　(kW/min^{-1})	－
燃料タンク容量　(L)	２１．５
潤　滑　油　量　(L)	１．４（オイルクーラー・フィルター含め≒１．５）
点　火　方　式	マグネット式
点火プラグ	ＣＨＡＭＰＩＯＮ　ＸＣ９２ＹＣ
始　動　方　式	セルモーター式・リコイル式
調　速　方　式	－
減　速　方　式	－
エアクリーナー方式	デュアルエレメント（乾式湿式併用）
乾　燥　重　量　(kg)	３５

■オイルシール部、オイル補充について

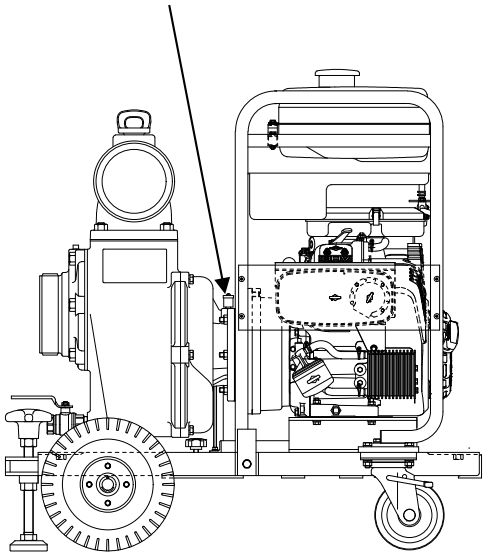
・オイルカップよりのオイル補充については
500 時間運転毎≒10mℓ （オイルカップいっぱい）

・また、メカニカルシール交換時オイル交換必要
（封入オイル量 ： 200mℓ ）

※使用オイル
ＩＳＯ粘度グレード１０
（ＩＳＯ ＶＧ１０相当品）

オイル補充例

オイルカップ



◇仕業点検

故障を未然に防ぐには、機械の状態をいつも知っていることが大切です。
始動前には必ず下記の点検を行ってください。

燃料タンクガソリン量
点検・補給

自動車用レギュラーガソリンを入れます。
ガソリンは、約３ヶ月に１度交換してください。

↓

クランクケース内エンジンオイル
点検・補給

使用オイル
５．３ 準備をご覧ください。(9 頁参照)
オイル量
仕様・諸元表をご覧ください。(18 頁参照)

↓

エアクリーナーエレメントの
清掃

ウレタンフォーム、エレメントの汚れがひどいときは清掃しください。(13 頁参照)

↓

ボルト・ナット類のゆるみ

ファンカバー取付ボルト
タンク取付ボルト
エンジン取付ボルト
の点検・増締め

↓

周囲の安全確認

安全に使用するために、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警 告

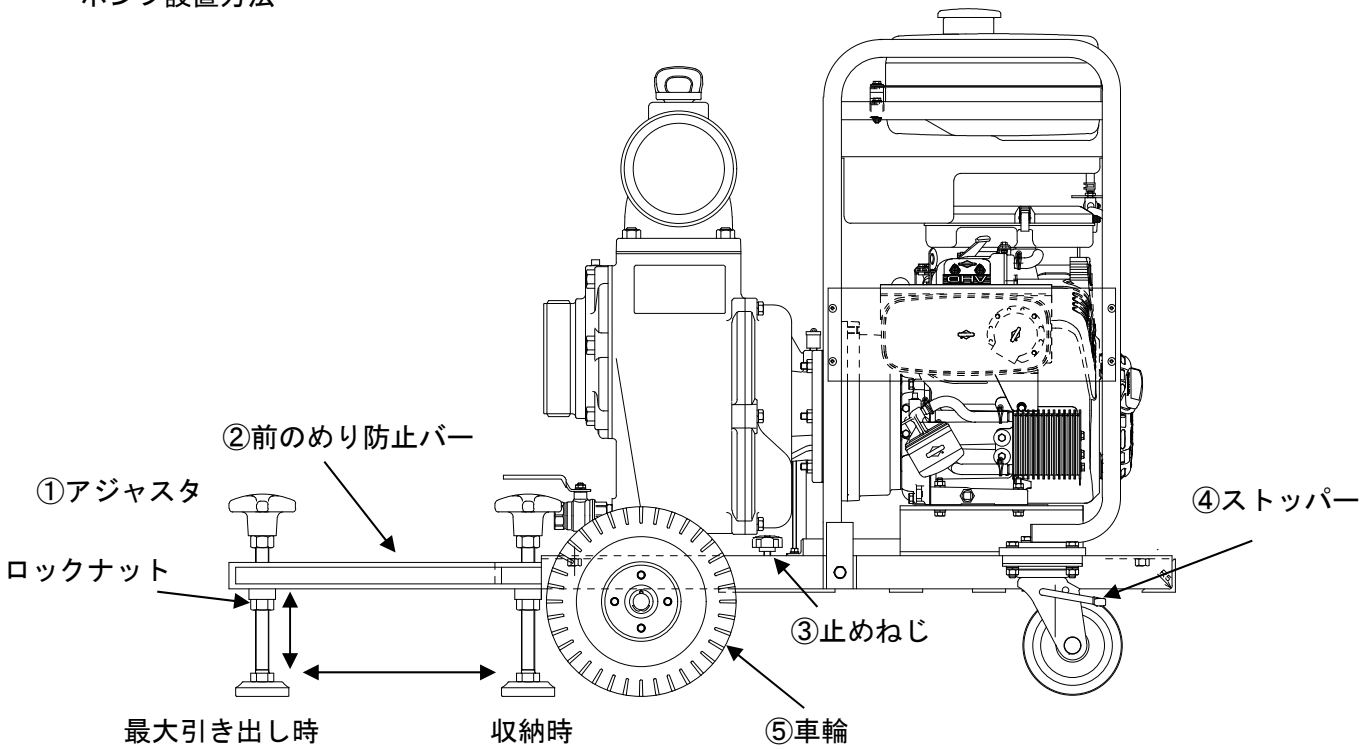
＊幼児が触ると危険です。幼児を遠ざけること。
＊室内・トンネル内など、換気の悪い所では使用しないこと。
＊平坦な安定した場所に設置すること。
＊周囲に火気がないことを確認して動かすこと。

↓

始動・運転

◇設置方法詳細

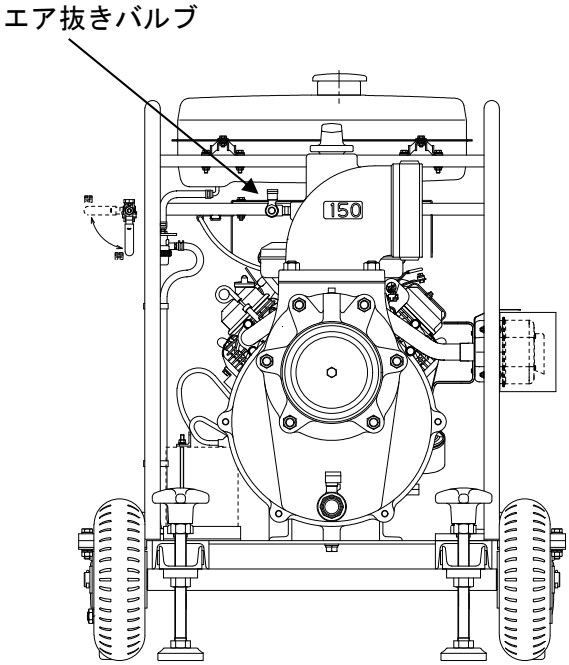
ポンプ設置方法



1）ポンプは水平に設置し④ストッパーで固定及び⑤車輪の固定をしてください。
（車輪の固定には別途車止めなど必要となります）
2）③止めねじを緩め、②前のめり防止バーを引き出します。
（③止めねじは②前のめり防止バーのストッパーもかねてます。抜くことの無いようお願いします）
3）②前のめり防止バー引き出し後③止めねじを締め固定してください。
4）①アジャスタの調整（ねじ式）を行いロックナットにて固定してください。
（アジャスタ設置面沈み等があれば板等当ててください）
移動時は前のめり防止バー収納及びアジャスタを上げていただくようお願いします。
※ 前のめり防止バーを使用しても完全に前のめりを防止するものではありません。設置状況に応じて吸水管に適切な支持をしてください。

エア抜きバルブ使用方法

・エア抜きバルブを使用して頂くことで
自吸作用中のエア逃げがよくなります。
（吐出管が大気開放の場合は変わりません）
※ポンプ揚水後は速やかにバルブを閉じてください
（開放状態のまま使用すると水が出て危険です）



MEMO

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

● 東京支社　〒120－0043　東京都足立区千住宮元町13－13　千住MKビル9F
TEL 03－6625－8558㈹　FAX 03－6625－8557

神奈川営業所　〒252－0134　神奈川県相模原市緑区下九沢2125－1－101
TEL 042－774－3670㈹　FAX 042－774－3671

北関東営業所　〒360－0015　埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048－523－2654㈹　FAX 048－525－5216

仙台営業所　〒984－0011　宮城県仙台市若林区六丁の目西町 3-33
TEL 022－287－0231㈹　FAX 022－287－0235

● 名古屋営業所　〒457－0004　愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052－819－0188㈹　FAX 052－819－0180

静岡営業所　〒420－0884　静岡県静岡市葵区大岩本町 26-32　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞ城北 1F-C
TEL 054－200－1002㈹　FAX 054－200－1003

● 大阪支社　〒540－0011　大阪府大阪市中央区農人橋二丁目 1 番 30 号　谷町八木ビル9F
TEL 06－6940－1177㈹　FAX 06－6940－1178

岡山営業所　〒700－0971　岡山県岡山市北区野田三丁目9－10－2　岡崎事務所 1F東
TEL 086－245－4497㈹　FAX 086－245－7246

高松営業所　〒761－8078　香川県高松市仏生山町甲836番地1ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊｲﾂﾋﾟｭｱ 101 号
TEL 087－888－5118㈹　FAX 087－888－5119

● 福岡営業所　〒812－0016　福岡県福岡市博多区上牟田 1 丁目 6 番 15 号ｳｨｽﾀﾘｱ東比恵ベース E-1
TEL 092－411－7555㈹　FAX 092－411－7585

広島営業所　〒731－5136　広島県広島市佐伯区楽々園 3 丁目 5 番 28 号　楽々園Nビル 101 号室
TEL 082－563－7486㈹　FAX 082－563－7487

■ お電話でのお問い合わせ　月～金 9:00～12:00 , 13:00～17:00（土、日、祝日、大型連休を除く）

株式会社 寺田ポンプ製作所
〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町 3 番 17 号
TEL 0745-52-5101㈹　FAX 0745-23-0013
E-mail : info@teradapump.co.jp
http://www.teradapump.co.jp/

2024.11